
慈 恵



平成25年 秋季号

No.44

宗教法人 慈 恵 院 付属 多磨犬猫霊園



南無阿弥陀佛

大教正
天龍滴水

意気軒昂、潑刺颯爽、まことに小気味よい。ことに「無阿弥陀」の中間が気合にのり、豁達な禅機が明澄な墨気を呈し、力と大きさと自由さを示す。が、全体に若いという感は、否めない。とくに「南」に気負いと「佛」に不安定さが目立つ。

落款は、一段と冴え気脈貫通するが、ゆつたりとした趣には欠けよう。

「大教正」となるのは、明治五年・五十一歳の時であるから、おそらくこれは五十歳代前半の作であろう。

「禅画報」より

狼の喉から骨を取ってやる

ある夜、盤珪が穴栗しそろうから網干あぼしに帰る途中、一匹の狼が大きく口を開けて迫って来た。盤珪は少しもあわてることなく、じつとその狼を見つめながら近寄っていった。すると、この狼、にわか立ちすくみ、何やら師の憐れみを乞うらしい様子である。盤珪は狼の頭をなでながら、仔細に調べてみると、喉に大きな骨を引っかけているのである。さっそく、手を喉に入れてその骨を取り除いてやった。狼はうれしそうに耳を垂れて立ち去った。

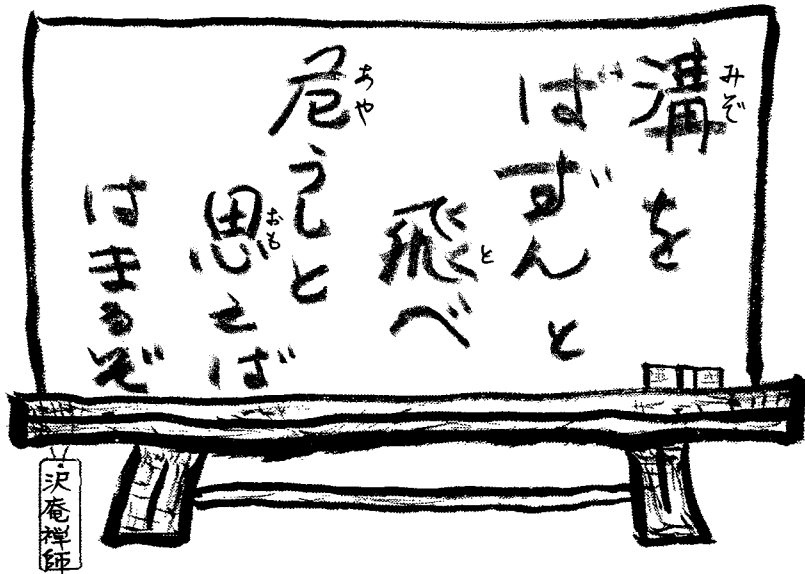
その後、盤珪が往還するたびに、必ずこの狼が師を警護するように前後して出没したということである。

「禅門逸話集成」より

盤珪ばんけい永琢えいたく（一六二二〜一六九三）

臨済宗。播磨の人。赤穂随鸕寺の雲甫について出家。諸方歴参のち二十六歳で大悟、不生禅を唱導した。

掲示板





ありがとう

ポポちゃん

田野井 祐里子

恵

慈

十五才の柴犬に痴呆の症状が見え始め、現在も続いている介護に私はヘトヘトになって

います。でも何とか元気で続けられていたのはポポのおかげでした。

ポポが突然私の前からいなくなりしました。生後二ヶ月で我が家に迎えてから十一ヶ月、わずか一才一ヶ月でした。心臓の具合が急に悪くなり、病院での懸命の手あてもむなししく亡くなりました。

去年の八月に十二才のトイプードルを亡くした悲しみが癒えない中、こんなに若いポポが旅立ってしまうなんて。

ポポが家族になってまもなく、

るような錯覚にとらわれて目を覚ます、ということが何度もありました。

誰にも怒ったり、ツメを出したりしない、本当にやさしい、穏やかないい子でした。寒いと、主人のガウンの胸もとに入り、眠っていました。

残されたもう一匹の猫、パルもとてもさびしそうです。病院から戻り、眠っているかのようなポポに直面して、懸命に毛づくろいをしてくれました。それでも目を覚まさないポポが不思議なようで、ずっと見つめていました。

ポポが私のところに来てくれて、本当に楽しかったです。家庭みんなを癒してくれた本当にありがとう。

夜、ポポと一緒に寝ていると、亡くなったプードルと寝ている

にいたかったです。ポポも、もっと遊びたかったよね。

ごめんね、病気を治してあげられなくて。苦しかったよね。今はもう苦しくないですか？先にそちらに行ったトイプードルのお兄ちゃんとは会えましたか？二人は性格も似ているから、仲良くできますよね。ポポとはこの世界で一緒にいられた時間は短かったけれど、これからもずっと一緒だよ。ずっとずっと大切な家族だよ。本当に、ポポちゃんありがとう。

愛する息子

(ベス)へ

川崎市 榎本 晶子(62)

子供に恵まれず、淋しい私達夫婦の元へ、ベスが、私達に幸せを運んでくれました。本当にありがとうございます。感謝してよ。

つらい事沢山あったけど、ベスがいつも隣りに居てくれたから、がんばれたのよ。

十八年間と長い間、私達の息子でいてくれてありがとうございます。思い出沢山ありがとうございます。

最後は、ママの腕の中で、苦しむ事もなく、天国へ行つたのね。

人は長生きしたのだからと言うけれど……。

何を見ても、ベスの事が思い出されて、涙が止まりま

せん。

とても逢いたいです。胸が痛い。ベス……。悲しくて、涙が止まらないよ。ベス……。いつの日か、天国で逢える日を待っててね。本当に本当に可愛い良い息子でした。ありがとうございますの言葉しかありません。

ママより



秋じよみ

11 月	10 月	9 月	当山行事
		9 / 26 明け 9 / 23 中日 9 / 20 入り <small>(秋分の旦)</small>	彼岸会
<ul style="list-style-type: none"> 11 / 7 立冬の病みて眩しきものばかり(荒谷利夫) 11 / 22 小雪 千枚漬(長谷川かな女) 	<ul style="list-style-type: none"> 10 / 8 寒露 10 / 23 霜降 霜降の陶ものつくる翁かな(飯田蛇笏) 寒露かな(岩淵寒山) 	<ul style="list-style-type: none"> 9 / 7 白露 黍の葉のうらがれを見る白露かな(隈水) 9 / 23 秋分 秋分の時どり雨や荏のしづく(飯田蛇笏) 	二十四節気
<ul style="list-style-type: none"> 11 / 23 勤労感謝の日 11 / 15 七五三 11 / 3 文化の日 	10 / 14 体育の日	<ul style="list-style-type: none"> 9 / 19 十五夜<small>(中秋の名月)</small> 9 / 16 敬老の日 9 / 9 重陽の節句<small>(菊の節句)</small> 9 / 1 関東大震災記念日 二百十日 	祝日等

「こよみ事典」東京美術 参考

今日のご機嫌は？

ウサギとモルモットの病院 Hello

院長 林 典子

私が専門とする動物種は「表情がわかりにくい」と言われま

すが、一緒に生活をすれば決してそうではないことがわかります。ウサギは鳴き声をあげることは稀ですが（強い恐怖を感じた時には鳴くことがあります）、嬉しいときには八の字を書くように飛び跳ね、奥歯を軽く鳴らします。怒ったときには耳をそろえて立て、鼻息で威嚇することがあります。お腹が空いたときにはソワソワ動きまわり、食器をひっくり返して食事を催促します。モルモットはよく鳴く

動物ですが、嬉しいときにはポップコーンがはじけるように飛び跳ねます。空腹時やおやつをおねだりするときには高い声で

鳴き、嫌なことをすれば大声で助けを求め、歯を鳴らして威嚇します。このような感情を示す仕草は挙げたらきりがありませんが、これらの動物種は自然界では肉食動物などに食べられる立場にあるため、本質的にとっても臆病です。警戒心が強く、慣れない人には（たとえ家族であっても）前記のような仕草を見せないのです、どうしても「わか

りにくい」と言われてしまうのです。安心できる環境で信頼する人の前では、ラージな態度を含め、微笑ましい動作の連続です。特に甘える仕草は本当に愛らしく、お伝えする言葉が見つかりません。これらを楽しめるのはオーナー（飼育者）の特権です。

動物たちは言葉を話さないで、「ここが具合悪い」と教えてくれることはありません。獣医師は動物の行動や反応から大まかな予測をたて、診察を進めます。しかし、小型の被補食動物は体調がすぐれない場合でも気丈にふるまう傾向にあり、獣医師には「病気を隠す」イメージを持たれています。動物病院は未知の場所であり、普段は聞かない音や他の動物の気配に溢れています。病院への移動も含めると、小型の被補食動物にとつ

て診療は恐怖の連続です。強い緊張のために診療台上で固まり、痛い場所に触れても反応しない例を少なからず経験します。この他、倒れる寸前の状態でも、院内では気丈に起立姿勢を維持する例にも頻繁に遭遇します。

問診を詳しく行うのはこのためで、正確な病状の把握には家庭での行動を詳しく伺うことが不可欠です。当然ながら、体調が優れなければ通常のリラククス時にみられる行動パターンに変化が起こり、痛みを表す動作（腹痛がある場合はおなかを床に押し付ける）など、普段とは異なる行動をとるようになります。

一見「強がり」で繊細なはずらつ子たちと私との付き合いは、早二十年になります。今日も全身をセンサーにして、動物たちの微妙な変化と向き合う一日が始まります。



ながた内科クリニク

院長 永田 宏

塩分を減らす生活習慣を！

かつて日本人は、胃がんが多いと言われていました。1993年まで最も死亡数が多いのは胃がんでしたが、日本人にある生活習慣が浸透した結果、胃がんが減少する傾向にあります。

その生活習慣というのが冷蔵庫の普及です。

昔から胃がんが多い地域は青森、秋田、山形、新潟、富山、長野といった雪国でした。冬になると野菜や果物がとれなくなる雪国の人

たちは、冬の間、新鮮な野菜や果物を食べることができませんでした。野菜だけでなく、新鮮な魚介類も手に入りませんでした。いくら秋田や新潟のお米が美味しくても、人間はお米だけでは生きていけません。そこで雪国の人たちは、冬に備えるために保存食を開発したのです。そうした保存食の代表が漬け物です。この漬け物の欠点は、塩分が過剰ということですが、

実は、胃がんにとって最大のリスクは塩分の過剰摂取です。医学的にも塩分の取りすぎは胃がんの要因といわれています。雪国の人たちに胃がんが多かったのは、雪に閉ざされる半年間、好むと好まざるとにかかわらず塩分を過剰に摂取していたのです。

ところが、冷蔵庫が普及したおかげで、雪国の人たちも晴れた日にスーパーで新鮮な野菜や果物を買ってきて冷蔵庫に入れて保存することができるようになりました。

もちろん、スーパーなどの流通システムが整備されたことの影響も大きかったと思います。

この雪国の人たちが塩分

を過剰に取らなくなったことが、日本人の胃がんを減少させているというわけです。このことからいえるのは、胃がんになりたくなくなったら塩分を控えるという生活習慣を身につける事でしょう。



ことわざ

一度成功して味をしめてもそうそううまい事ばかりはない
(柳の下にいつもどじょうはいない)

見 学

「セピアペットケアスクール」(武蔵野市)の皆さまがご来山されました。



ご朱印始めました。

(府中本山のみ)



① 三尊仏とは

中央の中尊および左右に侍立する脇侍の総称。

① 阿弥陀三尊 阿弥陀如来 観世音菩薩 勢至菩薩

② 釈迦三尊 釈迦如来 文殊菩薩 普賢菩薩

③ 薬師三尊 薬師如来 日光菩薩 月光菩薩

●本山：東京都府中市浅間町2-15-1 〒183-0001
TEL.042-365-7676 FAX.042-336-3888
URL http://www.jikeiin.jp

●足立別院：東京都足立区加平1-14-3 〒121-0055
TEL.03-3628-7676 FAX.03-3628-7679

編集後記

によっぽりと

秋の空なる

富士の山 (上島鬼貫)

富士山が晴れて世界遺産に登録されました。一段と注目を浴び、登山者の行列も続く事でしょう。ゴミ、トイレが心配です。

“登録取消しなんて羽目にならないようひとり一人の心がけが大切と思います。

未筆乍ら、時節柄ご自愛專一の程、皆様のご健勝と益々のご活躍を祈念申し上げます。

合掌

慈 恵 秋季号 No.44

平成二十五年九月一日 発行

発行者 永 田 恵 堂

編集者 長 岡 天 佑

発行所 一八三〇〇〇一

府中市浅間町二十五

一 宗教法人慈恵院 編集部

印刷所 〇四二二三六五七七六

山二印刷有限公司 社

府中市浅間町三十四一九

〇四二二三六一一五二二三